

令和3年名古屋港の港勢

令和3年(2021年)の名古屋港の港勢は、船舶総トン数は前年実績を下回りましたが、入港船舶隻数、総取扱貨物量は前年実績を上回りました。

1 入港船舶

入港隻数は29,663隻(前年比1.4%増)、総トン数は2億802万トン(同1.3%減)と隻数は前年実績を上回り、総トン数は前年実績を下回りました。

○ 外航船舶

入港隻数は7,032隻(同1.9%減)、総トン数は1億6,843万トン(同2.2%減)と、ともに前年実績を下回りました。全体の5割以上を占めるコンテナ船においても、入港隻数は3,569隻(同6.9%減)、総トン数は7,255万トン(同11.6%減)と入港隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

○ 内航船舶

入港隻数は22,631隻(同2.5%増)、総トン数が3,959万トン(同2.7%増)と入港隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

令和3年の総取扱貨物量は、1億7,779万トン(前年比5.5%増)と前年実績を上回り、平成14年から20年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貨物取扱量については、1億1,681万トン(同8.5%増)と前年実績を上回り、平成12年から22年連続で全国1位になりました。

○ 外貨物

輸出貨物量は、4,601万トン(同12.1%増)と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位は完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種で、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で全体の6割以上を占めています。国・地域別では1位が中国で614万トン、以下2位アメリカ400万トン、3位アラブ首長国321万トン、4位オーストラリア245万トン、5位タイ230万トンです。

輸入貨物量は、7,080万トン(同6.3%増)と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種はLNG(液化天然ガス)、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源で、全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位がオーストラリアで1,446万トン、以下2位中国1,403万トン、3位アメリカ708万トン、4位カナダ383万トン、5位マレーシア347万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は 3,112 万トン（前年比 3.0%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鉄鋼、揮発油、その他の石油、重油が占めました。移入貨物量は 2,986 万トン（同 3.5%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鋼材、セメント、揮発油、化学薬品が占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,615 万トン（同 11.4%増）、コンテナ個数は 254 万 TEU（同 10.3%増）と、ともに前年実績を上回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,251 万トン（同 12.5%増）、輸入は 2,364 万トン（同 10.4%増）と、ともに前年実績を上回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、その他化学工業品、ゴム製品、完成自動車が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、電気機械、その他化学工業品、輸送用容器が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は 1 位が中国で 483 万トン、以下 2 位アメリカ 345 万トン、3 位タイ 154 万トン、4 位台湾 103 万トン、5 位ベトナム 99 万トンです。輸入は 1 位が中国で 1,105 万トン、以下 2 位台湾 150 万トン、3 位ベトナム 148 万トン、4 位タイ 137 万トン、5 位韓国 113 万トンです。